

戦略的情報通信研究開発推進事業(国際標準獲得型研究開発)日EU共同研究  
令和2年度 研究開発課題の公募 委託先一覧

分野	研究代表者	研究分担者	研究開発課題名	研究開発期間	研究開発概要
eHealth	瀧 靖之 (東北大学)	辻 一郎、オガワ 淑水(東北大学)、 松本 吉央、本間 敬子、福田 賢一郎、 Kristiina Jokinen、西村 悟史、JULIO ROMERO(国立研究開発法人産業技術 総合研究所)、 鶴本 諒、辻 祥、中村 仁(GATEBOX株 式会社)、 高村 博紀、清水 雄一郎、榎引 豪、駒澤 香介、千葉 翔太(一般財団法人日本品 質保証機構)、 桂 卓成、Miyachi Carlos Makoto(株式 会社NeU)、 高野 映子、近藤 和泉(国立研究開発法 人 国立長寿医療研究センター)、 Gabriele Trovato、Schmitz Alexander、 菅野 重樹(早稲田大学)、 大原 亜砂子、守谷 一希(ミサワホーム 総合研究所)、 渡辺 修一郎(桜美林大学)	スマートエイジングを目指す日欧共同仮想 コーチングシステム(e-VITA)	3か年	情報通信技術を活用して、人々の健康リスクを早期発見し、個々人に適したアドバイスを行う仮想コーチングは、「アクティブ・ヘルシー・エイジング(活力ある健康的な高齢化)」のために極めて重要である。 しかしながら、従来のシステムは、カスタマイズが難しかったり、処理能力が限られていたり、規格化され過ぎていたりすることなどによって、必ずしも個々人に適したものとは言い難い。 そこで、ビッグデータ解析やエモーショナルコンピューティングなどの最新技術を用いて、個別化されたプロファイリングと個々人に応じてアドバイスを行うシステムを開発し、高齢者の受容性を検証する。